

## はじめに

コンピュータシステム・シンポジウム(Computer System Symposium、ComSys)は、情報処理学会「システムソフトウェアとオペレーティング・システム」研究会(SIGOS)が主催するシンポジウムです。今年、芝浦工業大学 豊洲キャンパスにおいて開催されます。1987年に第1回コンピュータシステム・シンポジウムが開催され、システムソフトウェア分野の最新の研究成果が集まる機会として今回で第25回を数えます。本シンポジウムは、OSを中心に分散処理、並列処理、オブジェクト指向を経て、仮想化、クラウドコンピューティング、ディペンダブルコンピューティング、セキュリティとその基盤ソフトウェアなどを題材として、OS やシステムソフトウェアの最先端の話題を取上げ、時代の流行を先取りした研究テーマを議論してきました。

今回のシンポジウムは皆様のご協力により多数のご投稿があり、厳正な査読を経て6件の研究論文発表を採択しました。内容については、マルチコア・メニーコア、ファイルシステム、信頼性などの多彩なものとなっており、深い議論を行えばと考えております。また、例年好評のポスター発表では、新しい試みとして、ポスターセッション前のインデキシングと、ポスターセッション翌日のラップアップを予定しております。最新の研究内容や進行中の研究について議論や情報交換の場になればと考えております。

基調講演には、Ruby on Railsに基づくPaaSの提供で有名なHeroku Inc.のFabio Kung氏をお迎えし、「Linux Containers at scale: challenges in very dense environments」と題したご講演をお願いしております。さらに、日本電気株式会社の長谷部 賀洋氏には「リアルタイム大規模データ解析処理基盤技術」、中央大学の竹内 健先生には「IT融合に向けた次世代メモリストレージ制御技術」、株式会社日立製作所の平松 雅巳氏には「Linux OSのトレース技術：カーネルからユーザランドまで」と題してご講演いただきます。このような機会を通じ、産学の連携が一層活性化されることを期待しております。

OSやシステムソフトウェア分野の発展は、新たなアプリケーションを産み出し、新しいハードウェアプラットフォームを活かしていくという意味で、大きな社会的使命を担っております。本シンポジウムから次の時代のOSやシステムソフトウェアを生み出せばと考えております。また、平素の研究会、シンポジウムにおいてシステムソフトウェアの研究開発、産学連携、人材発掘と育成、人的交流などを今後も推進していければと考えております。今後とも本研究会およびシンポジウムがさらに発展するよう、今後とも皆様のご支援・ご協力を賜れば幸いです。

2013年12月  
第25回コンピュータシステム・シンポジウム 運営委員長  
河野 健二 (慶應義塾大学)  
第25回コンピュータシステム・シンポジウム 幹事  
阿部 洋丈 (筑波大学)